

令和2年度 一相生市立図書館

図書館だより (1月号)



〒678-0053

相生市那波南本町 11 番 1 号

電話 0791-23-5151

FAX 0791-22-7164

電子メール info@aioi-city-lib.com



＜図書館カレンダー＞ ■ は、休館日。祝日も開館しています。開館時間 9:00~19:00
(1月) (2月)

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	*	*	*	*	*	*

日	月	火	水	木	金	土
*	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	*	*	*	*	*	*

＜1月の行事案内＞

日時	行事内容	場所
9日(土) 10:30~	読書会 課題図書: 『サキ傑作選』 サキ 著/角川春樹事務所	2階 201 会議室
24日(日) 11:00~	おはなし会 えほん『だいくとおにろく』ほか おはなし『うさぎとひきのもち争い』ほか	3階 視聴覚室
31日(日) 11:00~	人形劇 『あかずきん』 グループ: みっくすじゅうす	3階 視聴覚室

＜行事における注意事項＞

- ・参加される方はなるべくマスクの着用をお願いします。
- ・おくれた人は参加できませんのでご注意ください。
- ・状況により、場所が変更になる場合があります。

読書会のご案内

参加者全員が同じ図書を読んだうえで集まり、感想を語り合います。
周りの人と違う意見を持って大丈夫！本をどんな風に楽しんだか、どんなところに疑問を持ったか、どこが好きでどこが嫌いか。十人十色の感想が飛び交う、自由な集まりです。

奇数月の第2土曜日に開催しています。申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

課題図書についてのお問い合わせは、相生市立図書館まで。



おすすめ本（児童書）

『ね、うし、とら……十二支のはなし』 対象年齢：5才くらいから
ドロシー・バン・ウォアコム ぶん エロール・ル・カイン え へんみまさなお やく
ほるぷ出版/P-U



シュン・ユーはあたらしいこよみのために12しゅるいのどうぶつをえらびました。十二支のさいしょの年のどうぶつが、ほかのどうぶつをまとめることになるのですが、つよいうしとかしこいねずみのどちらにするかきめられません。そこでシュン・ユーは、ほかのどうぶつたちにどちらがいいかをきいていくことにしました。

中国民話にもとづいたお話です。なぜ十二支が今の順番になったのかということを楽しく描いています。少し文章が多いのですが、次に何の動物が出てくるのか、なぜねずみが1番目になるのか、わくわくしながらページをめくることができます。

『大雪』 対象年齢：5才くらいから
ゼリーナ・ヘンツ 文 アロイス・カリジェ 絵 生野幸吉 訳/岩波書店/P-H

ウルスリとフルリーナの兄妹は、明日のそり大会につかうそりのじゅんびをしていました。フルリーナはそりにかざる毛糸のふさを手に入れるために、雪のなか、となり村の糸屋にでかけます。家にかえるころには、雪がふり、風がふき、日はくれかけていました。あらしの木にたどりついたとき、フルリーナになだれがおそいかかります。ウルスリはかえりがおそいフルリーナをしんぱいしてむかえにいくことにしました。

アルプスの兄妹ウルスリとフルリーナのお話です。リズムが良く、語りかけるような文章なので、ゆっくり声に出して読んでもらいたい絵本です。ご家庭での読み聞かせにぜひ。

『ヘムロック山のくま』 対象年齢：5才～小学校中級くらい
アリス・デルグレーシュ 作/松岡享子 藤森和子 共訳/福音館書店/93-デ

ジョナサンはヘムロック山のふもとにすんでいます。冬のある日、ジョナサンは大きななべをかりに、ヘムロック山をこえて、ひとりでエマおばさんのところに行くことになりました。ジョナサンはジェイムズおじさんから「ヘムロック山にはくまがいる」といわれたことをおもいだして、「ヘムロック山にはくまなんかいな」とうたいながら、おそくならないようおばさんのいえにむかいます。

静かな森の中で、いつくまが出てくるのかとハラハラしてしまうお話です。おばさんの家についてひと安心と思ったら、ジョナサンは眠ってしまって、帰り道にまたときどきさせられます。枝の折れる音や動物の声など、冬の自然の空気を体感することができる本です。

おすすめ本（一般書）

『あなたのまわりの怒っている人図鑑』

安藤 俊介 著／飛鳥新社／141

自粛警察、ネットいじめ、パワハラ…。各地で怒りのパンデミックが発生している。なぜイライラして怒りを発生させるのかを考察し、日常生活で目にする様々な「怒りの事例」と対処法を紹介。怒りタイプ・チェックテスト付き。

『そこにある山』角幡 唯介 著／中央公論新社／290.9

人はなぜ冒険し、山に登るのか。「永久にわからないだろう」と思い続けてきた謎を解き明かしたのは、まさかの「結婚」だった！？〈事態〉と〈思いつき〉を鍵につむぎだす人生論の極北。

『新型コロナ時代のランニング』金 哲彦 著／KADOKAWA／782

なぜランニングが健康にいいのか？どうすれば楽しくランニングできるのか？ウィズ・コロナ時代のランニングはどうあるべきか？ランニングの効果・秘訣・エチケットなどを、わかりやすく説明する。

『声を通らない！』新保 信長 著／文藝春秋／809

居酒屋で店員を呼んでも気づいてもらえない著者が、アメ横の魚屋や相撲の呼び出し等に教えを乞い、通る声の獲得を目指したルポルタージュ。

『字が汚い！』に続く、コンプレックスシリーズ第2弾。

『世界は思考で変えられる』東田 直樹 著／河出書房新社／914-ヒ

会話ができない自閉症作家が、自分と向き合い続けてきたからこそたどり着いた、生きることの本質。視点を変え、悩みを悩みでなくすための考え方を43の言葉にまとめる。各章末に「猫のミーヤ」などの物語も掲載。

『ぼくもだよ。神楽坂の奇跡の木曜日』

平岡 陽明 著／角川春樹事務所／F-ヒ

神楽坂に盲導犬と住むよう子は、盲目の書評家。隔週の木曜日、出版社の担当・希子との打ち合わせを兼ねたランチを楽しみにしていた。一方、神楽坂で古書店を営むバツイチの本間は、5歳の息子と週に一度会えるのが木曜日で…。

一般書<12月分 予約の多い図書>

予約回数	書名	著者名	出版社	請求記号
16	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野 圭吾	光文社	F-ヒ
8	JR上野駅公園口	柳 美里	河出書房新社	F-ユ
7	今度生まれたら	内館 牧子	講談社	F-ウ
4	おもかげ	浅田 次郎	毎日新聞出版	F-ア
4	聖女か悪女	真梨 幸子	小学館	F-マ
3	灯台からの響き	宮本 輝	集英社	F-ミ

からからどん vs トロル 手に汗にぎる、緊張の一大番！

12/6(日)人形劇「三びきのやぎのがらがらどん」がグループちゅうりっぷさんにより公演されました。原作は同名の絵本で、ノルウェーの昔話です。おそろしいトロルの待ち構える橋をやぎたちが渡る場面では、観客の皆さんも一緒にドキドキ…！大きいやぎのがらがらどんがトロルと戦う場面では「がんばれ！」の掛け声や拍手が飛び交いました。

かわいいやぎたち、迫力のトロルの人形はもちろん、舞台上の小道具はすべて手作りだそうです。定期的に図書館で公演をしてくれていますので、次回の開催をお楽しみに！中高生、大人の観劇も大歓迎です。



《図書館を利用する際のお願い》

ご来館の際は、事前の検温、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。
大人37度、子ども37.5度以上の発熱がある場合、入館をお断りすることがあります。

☆貸出できる冊数はお一人10冊、貸出期間は2週間です。返却期限をお守りください。
☆貸出の翌日から、ホームページ・電話で貸出期間の延長を受け付けています。
予約が入っている本・返却期限を過ぎている本の延長はできません。

【ライブラリアン・レター】

新年あけましておめでとうございます。

経験したことのない事態が続いた1年が終わり、新しい年が始まりました。

当たり前の日常のありがたさをこれほど感じたことがあったでしょうか。

今年が世界中の人々にとって明るい年になりますように…。

